

ENEOS 童話賞に込めた3つの願い

1. “たくさんの人に「心のふれあい」をお届けしたい”

～童話集「童話の花束」～



ENEOSグループは、ENEOS童話賞受賞作品を一冊の童話集「童話の花束」としてまとめ、全国の教育機関、児童福祉施設、海外の日本語学校などに毎年寄贈しています。

1973年の発刊以来、これまで700編以上の作品が収められ、時代を反映した心のふれあいの移り変わりが読み取れます。

2. ”子どもたちの夢を応援したい“ ～次世代育成・支援～

「童話の花束」は、ENEOSグループのサービスステーションを運営する特約店やLPガ斯特約店の皆様や一般のお客様にお買い上げいただくほか、ENEOSグループ各社や社員にも販売し、売上金のすべてをENEOS童話基金に組み入れています。同基金から、社会福祉法人全国社会福祉協議会（以下、全社協）に寄付を行っています。

この寄付金は、全社協が設立した「ENEOS奨学助成制度」により、全国の児童福祉施設などで暮らす子どもたちが高校を卒業し、大学や専門学校へ進学する際の入学支度金の一部として活用されています。2020年度は753名への助成を決定し、給付を行いました。2004年3月の助成制度創設以来、これまでの助成決定者数は7,235名、助成金の累計額は7億1,275万円となっています。



3. “元気な森林づくりの力になりたい” ～環境保全～

「童話の花束」に使用する製紙原料には、森林整備の中で生じた間伐材が活用されており、間伐などの森林整備により木々が健全に生育することから、国内の二酸化炭素吸収量の拡大に貢献しています。ENEOSグループは、「童話の花束」を通じて、国内の森林保全を推進する林野庁の「木づかい運動」を応援しています。

ENEOS童話賞の詳細については、「童話の花束」ウェブサイト
[\(https://www.hd.eneos.co.jp/hanataba/\)](https://www.hd.eneos.co.jp/hanataba/) をご覧ください。